

広島大学における教員の採用最低基準（教育学・スポーツ科学）

- ・基準は、「教育学」、「教科教育学」、「スポーツ科学」で別に定める。
- ・最低基準は、研究力に関するもののみとする。テニユア適格に関する基準については、ここで定める研究力の最低基準の他に、教育活動、運営業務に関する基準も別途設ける。

【教育学】

- ・研究業績の指標は、「G-index」と「学術的著書・論文数」を用いる。
- ・G-indexの計算には、SCOPUS、Web of Science 及び Google Scholar(記述言語は問わない)を参照し、高い方を採用する。
- ・「G-index」と「学術的著書・論文に重み付けを加えた点数」は、どちらか一方を満たすことを条件とする。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	G \geq 3	G \geq 3	G \geq 3	
学術的著書・論文に重み付けを加えた点数	5 点以上	4 点以上	3 点以上	2 点以上

(*)教授については業績に外国語論文を 1 本以上含むこと(特別支援教育学を除く)

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index	G \geq 3	G \geq 2	G \geq 2	G \geq 1	G \geq 1	G \geq 1
学術的著書・論文に重み付けを加えた点数	5 点以上	4 点以上	4 点以上	3 点以上	3 点以上	3 点以上

(*)教授については業績に外国語論文を 1 本以上含むこと(特別支援教育学を除く)

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表4-1：学術的著書・論文重み付け点数表

項 目	種 別	点 数
著 書	単著(外国語)	4
	編著(外国語)	3
	共著・分担執筆の専門書(外国語)	2
	単著(和文)	3
	編著(和文)	2
	共著・分担執筆の専門書(和文)	1
論 文	単著・筆頭・責任著者の査読論文(外国語)	2

第二著者以下の共著の査読論文(外国語)	1
単著・筆頭・責任著者の査読論文(和文)	1
第二著者以下の共著の査読論文(和文)	0.5

(*) 論文は, SCI/SSCI/A&HCI/ESCI 論文及び広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)に採録された雑誌に掲載されたものとする。

【教科教育学】

- ・研究業績の指標は, 主に「論文(査読有)」(教科教育学実技系教員の場合は, 「作品・演奏・競技等」も対象)を用いる。
- ・研究領域の多様性をふまえて, R 値(研究系教員), P 値(実践系教員), T 値(実技系教員)の 3 つを設定する。R 値, P 値, T 値は, 次の項目について表 6-1(研究業績評価表)により算出する。
- ・研究系教員とは, 実践系教員及び実技系教員以外の教員のことを指す。
- ・実践系教員とは, 論文(査読有)や著書に加えて, 幼・小・中・高の教育職員免許にかかる課程認定に必要とされる当該の教育実践研究の業績や教育歴を有する教員のことを指す。
- ・実技系教員とは, 論文(査読有)や著書に加えて, 造形・音楽・スポーツ等の実技に関する実績を有する教員のことを指す。

R 値	著書, 論文(査読有)
P 値	著書, 論文(査読有)
T 値	著書, 論文(査読有), 作品・演奏・競技等

(1)新規採用のための最低基準

<研究系教員及び実践系教員>

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	研究系教員 R \geq 30	研究系教員 R \geq 20	研究系教員 R \geq 12	研究系教員 R \geq 6
	実践系教員 P \geq 24	実践系教員 P \geq 18	実践系教員 P \geq 12	実践系教員 P \geq 6

<実技系教員>

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持又はこれに準ずる業績を有すること	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	実技系教員 T \geq 24	実技系教員 T \geq 18	実技系教員 T \geq 12	実技系教員 T \geq 6

(*1)「これに準ずる業績を有すること」とは, 「国際・全国レベルの公募展・コンクール・競技会等で入賞・受賞の実績があること」を指す。

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

<研究系教員及び実践系教員>

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	研究系教員 R \geq 30	研究系教員 R \geq 25	研究系教員 R \geq 20	研究系教員 R \geq 20	研究系教員 R \geq 16	研究系教員 R \geq 12
	実践系教員 P \geq 24	実践系教員 P \geq 21	実践系教員 P \geq 18	実践系教員 P \geq 18	実践系教員 P \geq 15	実践系教員 P \geq 12

<実技系教員>

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	実技系教員 T \geq 24	実技系教員 T \geq 21	実技系教員 T \geq 18	実技系教員 T \geq 18	実技系教員 T \geq 15	実技系教員 T \geq 12

(*1)「これに準ずる業績を有すること」とは、「国際・全国レベルの公募展・コンクール・競技会等で入賞・受賞の実績があること」を指す。

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)
設定なし。

表 4-1：研究業績評価表

項 目	種 別	配 点	備 考
著 書	単著・共著	10×(頁数/全頁) / 件	共著には編著を含む
	編集	5 / 編者数 / 件	著者として参画していないもの
	母語以外	1 / 件	上記に加点
論文(査読有)	単著又は第一(責任)著者(国際)	5 / 件	責任著者とは論文全体に責任を持つ著者のことである 国際論文には査読論文に相当する国際学会プロシーディングを含む
	単著又は第一(責任)著者(国内)	3 / 件	

	共著(国際)	5/著者数/件	
	共著(国内)	3/著者数/件	
	共著(国内)母語以外	1/件	上記に加点
	指定雑誌	1/件	上記に加点 指定雑誌とは、Web of Science及び広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)に掲載された学術雑誌を指す
作品・演奏・競技等	国際	5/件	楽譜出版、録音・録画出版、作品の再演・発表を含める
	国内	3/件	

【スポーツ科学】

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない
査読付き論文数	7本以上(英語論文を1本以上含む)	5本以上	3本以上	1本以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
査読付き論文数	3本以上(英語論文を1本以上含む)	3本以上	3本以上	4本以上	2本以上	2本以上